

「仮設店舗現況調査」の結果について
(令和元年10月1日現在)

被災事業者が入居している県内の仮設店舗の保有状況と入居者の現状について把握し、今後の商業機能回復を図る事業者の自立を支援することを目的に、前年度に引き続き標記調査を実施した。

1 調査概要

- [対象施設] 本調査における「仮設店舗」の定義は、「被災事業者に臨時の店舗（小売、飲食等のサービスを直接提供するための施設）として使用させることを目的として、市町または商工会が保有している仮設の建築物」とする。
- [調査団体] 仮設店舗を保有する県内の6市町及び1商工会（石巻市牡鹿稲井商工会）
- [調査時点] 令和元年10月1日時点の仮設店舗保有及び入退去者の状況

2 仮設店舗保有及び入退去の状況

(1) 保有状況及び入退去状況

右表のとおり（箇所数は入居中施設）

(2) 前回調査（H30.10）以降に閉鎖

された施設（4市町、22施設）

- ・気仙沼市：
 - 気仙沼復興飲食組合小町田谷通り（H30.11）
 - 気仙沼復興飲食組合小町田中通り（H30.11）
 - 気仙沼復興飲食組合小町南ヶ丘通り（H30.11）
 - 大島島っこ市（H30.11）
 - 気仙沼市本町仮設施設（H30.11）
 - 復幸サンライズ（H30.11）
- ・南三陸町：
 - 志津川沼田（H31.3）
 - 入谷新中の町（H31.3）
 - 入谷鏡石（H30.12）
 - 歌津港Ⅰ（H31.3）
 - 歌津田の頭（H31.3）
 - 歌津吉野沢（H31.3）
 - 入谷桜沢（H31.3）
 - 歌津柵沢（H31.3）
 - 歌津港Ⅱ（H31.3）
 - 歌津田表Ⅰ（H31.3）
 - 旭ヶ浦Ⅳ（H30.12）
 - 歌津田表Ⅱ（H31.4）
 - 峰畑（H31.3）
- ・女川町
 - きぼうのかね商店街（R1.8）
- ・東松島市
 - 復興仮設店舗境堀（R1.7）

所在市町	仮設 箇所数	事業者数(全体)			事業者数(うち商業系)		
		退去済	入居中	計	退去済	入居中	計
石巻市	3	56	18	74	54	16	70
名取市	1	11	26	37	9	26	35
小計	4	67	44	111	63	42	105
気仙沼市	-	210	-	210	199	-	199
南三陸町	-	77	-	77	69	-	69
女川町	-	68	-	68	65	-	65
東松島市	-	11	-	11	10	-	10
塩竈市	-	25	-	25	23	-	23
七ヶ浜町	-	7	-	7	7	-	7
多賀城市	-	23	-	23	23	-	23
亘理町	-	41	-	41	38	-	38
山元町	-	12	-	12	11	-	11
登米市	-	8	-	8	7	-	7
合計	4	549	44	593	515	42	557

3 退去済み事業者の状況（商業系）

退去済み事業者数		
～H30.9	H30.10～R1.9	計
439	76	515

退去理由（H30.10～R1.9）		
本設復旧	57	(75.0%)
他の仮設へ移転	2	(2.6%)
廃業	9	(11.9%)
その他（不明、閉店等）	8	(10.5%)

(計 76)

4 入居事業者の営業継続意思（商業系）

営業継続意思	摘要			
あり 38 (90.5%)	「あり」事業者の再建方法(予定を含む)			
	・グループ補助 20 (52.7%)	・自力再建 2 (5.3%)	・県単独補助 4 (10.5%)	・その他 4 (10.5%)
なし 3 (7.1%)	「なし」「未定」事業者の再開への課題、継続断念の理由等(複数回答)			
	・売上の回復 2 / 5	・後継者問題 2 / 5	・本設復旧資金の手当て 1 / 5	
未定 1 (2.4%)				

(計 42)

5 入居事業者の計画及び状況（商業系）

(営業継続意思ありと回答した 38 事業者に関する状況)

◇入居事業者が計画する
復旧施設の所有関係

所有関係		
自己所有	22	(57.9%)
賃借	11	(28.9%)
未定	5	(13.2%)

(計 38)

◇入居事業者の復旧場所確保状況

確保状況		
確保済み	23	(60.5%)
選定中	14	(36.9%)
確保困難	1	(2.6%)

(計 38)

◇入居事業者の復旧に向けた
自己資金確保状況

復旧に向けた自己資金確保状況		
確保済み	16	(42.1%)
金融機関 等と 相談中	4	(10.5%)
これから 検討	18	(47.4%)

(計 38)

6 市町村毎の今後の仮設店舗の閉鎖予定

石巻市 未定
名取市 令和元年度中に閉鎖